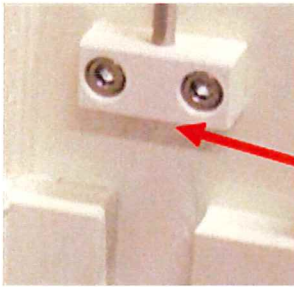


版送ゴムローラー（上）の交換手順

ゴムローラの亀裂破損、変形、摩耗、版送不良（版がスベル）などが見られる場合に交換します。ゴムローラの交換目安は2年にしております。

必ず、電源をOFFにして下さい。



（取外し）

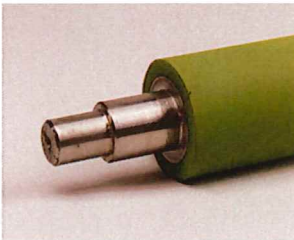
交換したいゴムローラのネジを緩めてゴムローラ押さえブロックを取外し、ネジは鉄心が取れるまで上に回し上げます

（ネジの上げ過ぎに注意してください）
左右2か所行います



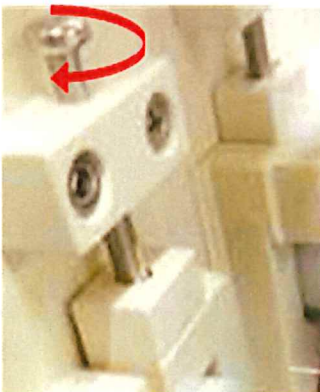
ゴムローラを外し、鉄心に付いているルーロン（スリーブ）を外します

（注意）ルーロンを紛失しないようにしてください



（交換）

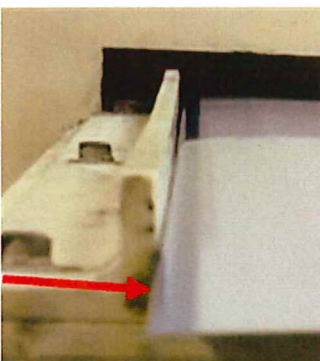
鉄心軸にルーロンを取付けて、新しいゴムローラと交換します。（写真は保護紙をはがした状態です）
必ず長さ、径サイズの確認をお願いします



ゴムローラを元の位に戻し、ネジを回しながら押さえブロックを取り付けます。

一旦、ブロック（動く→動かなくなるまで）を締め付けます

両サイド同じように絞めつけた後、ネジを更に1/2回転から1回転1/2まで絞めつけて終了です



（ローラ圧の調整）投入口が一番判断しやすいです

処理版を機械に通し、ゴムローラを以下の様に調整をします
投入口から見て

左側が早く進む→左側の抑えを緩める

右側の抑えを締める

右側が早く進む→右側の抑えを緩める

左側の抑えを締める

（例：隙間が広がる場合→右側が早く進むと同じ対処）

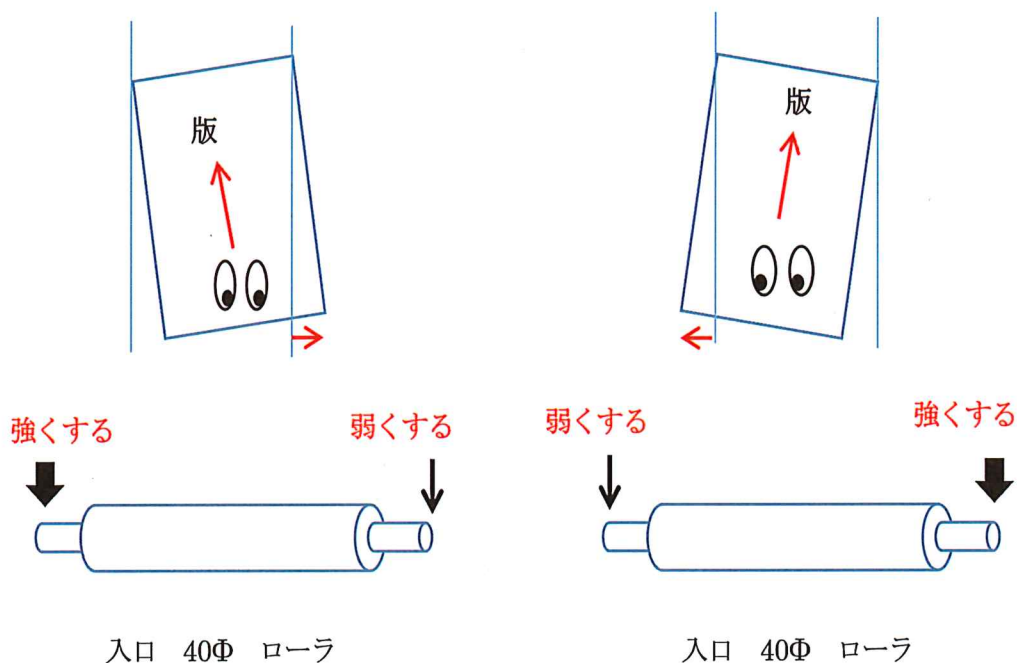
版送の状態確認

挿入後の版の進行状態はどうですか？

版は直進していますか？

版尻が左か右に曲がる場合は調整が必要です。

① 版尻が右に曲がる場合 → 左側のローラ圧を強める。 又は、右側のローラ圧を弱める。	② 版尻が左に曲がる場合 → 左側のローラ圧を弱める。 又は、右側のローラ圧を強める。
---	---



押さえブロック

ローラ圧の調整方法

ローラを上下重なるように設置し、押さえブロック（左図）が動かない程度に軽くドライバーで締めて下さい。

押さえブロックが動かないことを確認したら

1/2～1回転程度ドライバーで締めて下さい。

締め過ぎは液絞りや版の送りに影響が出ますので注意して下さい。